

FRZBフィルタレギュレータ

取扱説明書

Ver. 1.2

コガネイ製品をお買い上げいただき、有難うございます。
ご使用前にこの説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
尚、この取扱説明書は大切に保管してください。

FRZBフィルタレギュレータ共通

設計・選定

●選定

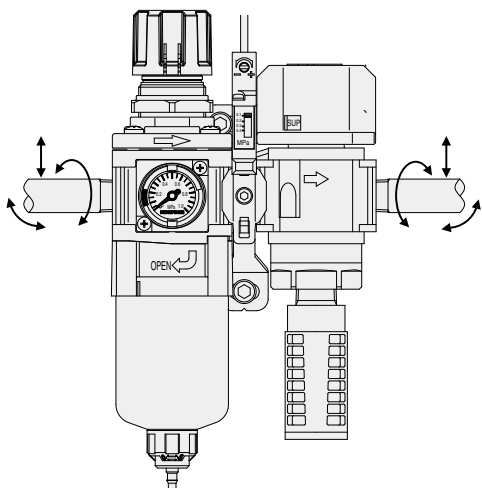
各製品の選定は、カタログの「取扱い要領と注意事項」、「仕様」、「各種特性」、「寸法図」、技術資料などをご覧いただき、正しく行なってください。

取付け(据付け)・配管

●取付け(据付け)姿勢・保持・固定

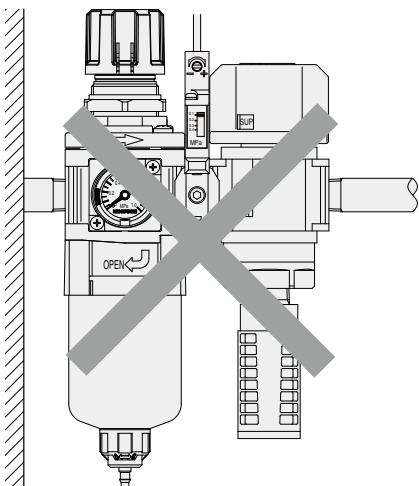
1. 各製品の本体・配管部に、曲げモーメント・ねじりモーメントをかける取付け(据付け)はできません。

曲げモーメント・ねじりモーメントをかけると、製品が破損する原因になります。



2. 下図に示すような片持ち固定の配管は避けてください。外部配管類は別に支持してください。

ハンドル操作や、OUT(2次)側配管によるモーメントによって、製品配管接続部が破損する原因になります。



※詳細な仕様および注意事項に関してはカタログを参照してください。
※製品に関するお問い合わせは最寄りの弊社営業所または、下記技術サービスセンターへお問い合わせください。



株式会社コガネイ

技術サービスセンター
TEL(042)383-7172

2018年12月6日 Ver.1.2 KG ©KOGANEI CORP. PRINTED IN JAPAN

3. 各製品は、ブラケットなどを使用して取り付けてください。
4. 各製品を取り付ける(据え付ける)場合は、必ず確実な保持・固定をしてください。



確実な保持・固定をしないと、製品の転倒・落下・異常動作などによってケガをする原因になります。

●メンテナンススペースの確保

保守点検・保守作業に必要なスペースを確保してください。
各製品のメンテナンススペースは、カタログの寸法図をご覧ください。



メンテナンススペースを確保しないと、ボウルアセンブリを外すことができなくなって、エレメントを交換することができません。また、保守点検ができなくなって、装置が停止したり、製品が破損したりする原因になります。

●鋼管・継手などの取付け

本体アルミダイカスト部分の配管ねじ部に鋼管・継手などを取り付ける場合は、弊社規定の推奨締付トルクで締め付けてください。



過剰なトルクでの締付けは、製品が破損したり、作業員・使用者がケガをしたりする原因になります。

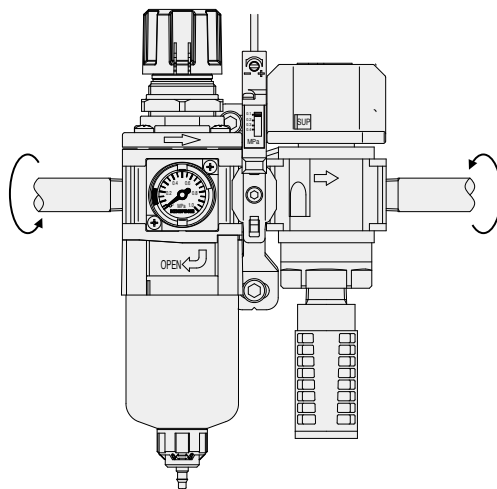
推奨締付トルク

N・m

接続ねじ	M5	1/8	1/4	3/8	1/2
トルク	1~1.5	4.5~6.5	7~9	12.5~14.5	20~22



Rc1/8またはRc1/4付圧力ポートプレートに各種圧力計などを取り付ける場合は、3.0 ~ 5.0N・mで締め付けてください。

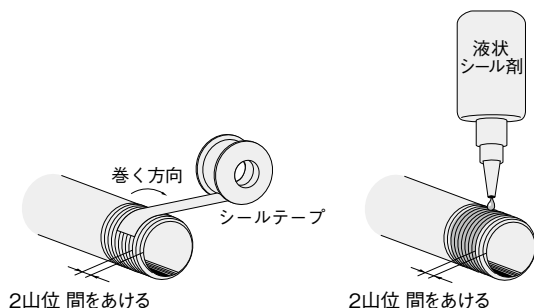


●異物の混入防止

1. 配管前にエアブロー(フラッシング)および洗浄を十分に行なって、配管内部の切粉・切削油・ゴミなどの異物を除去してください。
2. 鋼管・継手などをねじ込む場合は、配管ねじの切粉・シールテープなどの異物が配管内部に混入しないようにしてください。

注 配管内部に異物が混入すると、製品が故障したり、製品の性能・寿命が低下したりする原因になります。

3. シールテープはねじ山を1.5～2山残して、下図に示す方向に巻いてください。液状シール剤を使用する場合も、同様に1.5～2山残して、適量を塗布してください。



注 シールテープやシール剤が鋼管や継手の先端にあると、ねじ込むときに小片が配管内部に入ったり、エアが漏れたりする原因になります。

4. 液状シール剤を使用する場合は、ポリカーボネートの部品(フィルタレギュレータのボウルおよび圧力計のフロントカバー)に液状シール剤が付着しないようにしてください。

注 液状シール剤が付着すると、ポリカーボネートの部品が破損する原因になります。

使用流体・使用環境

●使用流体

1. 供給流体は清浄空気(40 μ m以下のフィルタを使用のこと)を使用してください。清浄空気以外の使用を検討する場合は、必ず最寄りの弊社営業所または技術サービスセンターへご相談ください。

注 空気以外の使用を検討する場合は、必ず弊社担当営業または技術サービスセンターにご相談ください。

2. 過度の水滴・ドレンが混入する空気の使用は避けてください。

注 過度の水滴・ドレンが混入した空気を使用すると、短期間で製品の機能が停止したり、製品の性能・寿命が低下したりする原因になります。

3. 水滴・ドレンが混入する空気を使用する場合、または混入する可能性がある空気を使用する場合は、iB-Cycloneを使用して、確実に水滴・ドレンを除去することを推奨します。

注 iB-Cycloneを使用する場合は、2次側にFRZシリーズのフィルタレギュレータ(水滴・ドレン除去機能なし)を設置してください。

4. 使用流体の衝撃圧・脈動がある場合は、製品の使用を避けてください。

注 使用流体の衝撃圧・脈動は、短期間で製品の機能が停止したり、製品の性能・寿命が低下したりする原因になります。

●使用環境

1. 直射日光(紫外線)が当たる場所、高温多湿の場所、塵埃・塩分・鉄粉がある場所では、製品の使用を避けてください。
2. 水滴・油滴などがかかる場所や、粉塵が多い場所で使用する場合は、カバーなどで保護してください。
3. 外部から振動・衝撃が加わる環境では、製品の使用を避けてください。

注 外部からの振動・衝撃は、構成部品が破損する原因になります。

4. 振動の伝播がある場合は、鋼管配管などの剛性がある配管を避けてください。フレキシブルチューブなどを使用して、振動の伝播を受けないようにしてください。

●使用流体・使用環境

1. 使用流体温度・周囲雰囲気温度は仕様の範囲内で使用してください。

注 仕様範囲外の使用流体温度・周囲雰囲気温度で使用すると、短期間で製品の機能が停止したり、製品の性能・寿命が低下したりする原因になります。

2. 製品の2次側で配管内部に結露・結霜が発生しないように、冷凍式エアドライヤ・アフタークーラなどを介して、使用流体の露点温度は周囲雰囲気温度よりも低くしてください。

注 製品本体内部に結露・結霜が発生した場合は、露や霜が2次側に飛散する可能性があります。

3. 使用流体・周囲雰囲気中に有機溶剤・リン酸エステル系作動油・亜硫酸ガス・塩素ガス・フロンガス・オゾン・酸類・アルカリ類などの腐食性が含まれている場合は、使用できません。

注 3.に記載している使用流体・使用環境で使用すると、短期間で製品の機能が停止したり、製品の性能・寿命が低下したりする原因になります。

4. フィルタレギュレータのボウルおよび圧力計フロントカバーの材質はポリカーボネートです。3.に記載のガス・液体およびねじロック剤・漏れ検知液・熱水などが存在する雰囲気や付着する場所、または紫外線が直接照射される場所では使用できません。詳細はカタログの参考資料をご覧ください。

使用・保守点検

●使用方法

各製品は、カタログの「取扱い要領と注意事項」をご覧ください、正しく使用してください。

●メンテナンス(保守点検)

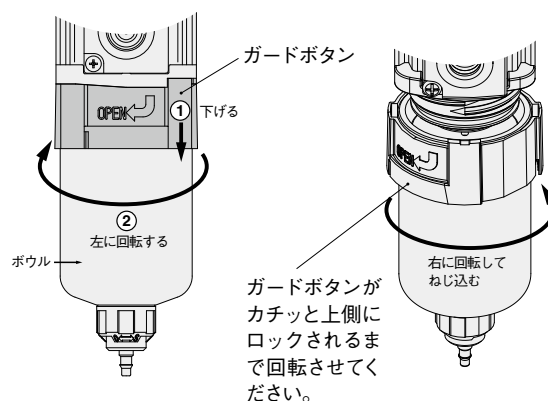
1. 空気圧機器は寿命によって性能・機能が低下します。空気圧機器は日常点検を実施して、システム上必要な機能を満たしていることを確認することで、事故を未然に防いでください。
2. 主要なメンテナンス項目・メンテナンス用部品の交換方法は、カタログの「取扱い要領と注意事項」をご覧ください。
3. シールキットを使用する場合は、製品の分解・再組立が必要です。

注 分解・再組立を行なった製品は保証外になります。

●ボウルアセンブリの取付け・取外し

1. ボウルアセンブリを取り付ける(取り外す)場合は、必ず製品内部の圧力を抜いてから作業を行ってください。
2. ボウルアセンブリを取り付ける(取り外す)場合は、下図に示す方法で行ってください。
3. ボウルアセンブリの取付け・取外しは、ガードボタンを把持して行なってください。

注 ボウルガード付の場合は、ボウルガードを把持すると、ボウルガードが脱落する可能性があります。



4. ボウルアセンブリの取付け・取外しは、内部構成部品に接触しないように、鉛直方向に行ってください。